

高岡市学校教育系施設個別施設計画

令和3年3月

高岡市

1 本市の公共施設マネジメントの取組み

本市では、これまで人口の増加や住民ニーズなどに応じて公共施設を整備してきましたが、現在、これらの施設の老朽化が進行しています。今後、人口減少や少子高齢化が進行し、厳しい財政運営を強いられることが見込まれる中、近い将来、老朽化した施設に対する多額の改修・更新費用が必要となることを見込まれます。

このため、本市では、公共施設の総合的かつ計画的な管理を進めるため、2016年3月に「高岡市公共施設等総合管理計画（以下「管理計画」という。）」を策定し、公共施設マネジメントの基本方針を「施設総量の適正化」「長寿命化の推進」「施設の有効活用」と決めました。

さらに、2018年3月には、公共施設マネジメントを強力に推進していくため、個々の施設の集約化、複合化、譲渡、廃止、コスト削減など、今後の具体的な方向性の指針となる「高岡市公共施設再編計画（以下「再編計画」という。）」を策定し、公共施設の総延床面積を2035年度までに15%削減する目標を達成するため、施設再編に取り組んでいます。

今後も維持していく施設については、管理計画に掲げる基本方針に基づき、耐用年数以上の使用を可能とするよう長寿命化を推進するため、「高岡市学校教育系施設個別施設計画（以下「個別施設計画」という。）」を策定します。

2 計画の位置づけ

個別施設計画は、管理計画の下位に位置づけられる計画です。

3 対象施設の概要

分類	施設名	所在地(地番)
その他教育系施設	教育センター	守護町二丁目 371
	石瀬共同調理場	石瀬 1003-1 外

※個別施設計画で対象とする施設は、2020年3月31日現在で保有する建築物である。

※学校施設については別に個別施設計画を策定

4 計画期間

10年間（R3年度～R12年度）

5 対象施設の状態等

(1) 建物状況 (R1 年度)

施設名	延床面積 (m ²)	建築年度 (年度)	築年数 (年)	構造	耐用年数 (年)	資産老朽化比率 (%)	劣化度 (点)	耐震性 (点)
教育センター	521.50	S60	34	RC	47	53	25	100
石瀬共同調理場	1,110.18	H2	29	S	38	78	26	100

資産老朽化比率は、35%～50%程度が平均的な値といわれており、対象施設は平均を上回る施設があります。

劣化度は、改修を行った施設や日頃から丁寧な管理、利用が行われている施設は、築年数に関わらず劣化度が低くなります。

耐震性は、耐震化不要の建物を 100 点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を 0 点とし、対象施設は全て耐震化不要となっています。

(2) 利用状況・収支状況 (R1 年度)

施設名	利用者数 (人)	収入 (千円)	支出 (千円)	収支 (千円)
教育センター	-	0	19,476	▲19,476
石瀬共同調理場	-	0	81,110	▲81,110

6 対象施設の今後の方向性

再編計画において、対象施設の今後の方向性を示しており、各施設の判定結果等は次のとおりです。なお、方向性が維持（コスト削減、利用促進を含む）の施設は、今後、長寿命化により維持していくこととします。

再編計画（抜粋）

施設名	実施基準判定結果	スケジュール			摘要
		短期 (2018-22)	中期 (2023-27)	長期 (2028-35)	
教育センター	コスト削減				平成 29 年度に供用開始した新センターは維持。旧センターは廃止。
石瀬共同調理場	方針決定	方針決定			給食提供のあり方検討を行い、その上で方針を決定。

7 長寿命化の考え方

管理計画において、公共施設マネジメントの基本方針の1つとして「長寿命化の推進」を掲げています。「今後も保有し続ける必要性のある施設については、対症的な「事後保全」から計画的な「予防保全」による維持管理にシフトし、定期的な点検・診断等により、劣化・損傷の程度や原因等を把握・評価し、優先度に応じた修繕を行うことにより、LCCの縮減を図るとともに、安全・安心を確保しながら期待される耐用年数以上の使用に努める」としており、この基本方針に基づき長寿命化を推進します。

対象施設は、計画的な保全に努めてきたことから、一部の不具合を除き、躯体等に関する大きな問題はなく、今後、定期的な点検・修繕等を実施の上、必要があれば個別施設計画を見直すこととし、更なる長寿命化を図ることとします。

8 対象施設の対策費用

対象施設における設備の更新や改修等に要する今後10年間の対策費用は0円です。ただし、実際の対策費用は、工事発注時における詳細な設計や今後の災害等の発生状況、社会情勢の変化を踏まえながら算定します。

○用語解説

行	用語	解説
カ行	公共施設マネジメント	公共施設の総合的かつ計画的な管理を行う仕組み
サ行	資産老朽化比率	建物の取得価額に対する減価償却累計額の割合。資産の老朽化度合を表す指標で、35～50%程度が平均的な値といわれており、100%に近いほど老朽化していることを表す
	事後保全	施設、設備が故障した段階で修繕を行うこと
タ行	耐震性	耐震化不要の建物を100点、現行の耐震基準に満たない又は耐震診断未実施の建物を0点とし、各棟の床面積で加重平均した値
ヤ行	予防保全	施設、設備を計画的に点検・修繕し、故障を未然に防ぐこと
ラ行	LCC（ライフサイクルコスト）	施設の計画、設計の段階から建築、維持管理、解体に至るまでに必要な費用の総額
	劣化度	施設管理者が行う部位ごとの点検結果（A～Dの4段階評価）を点数化したもの。点数が大きいほど劣化が進行していることを意味する